



一般質問

よしかた ゆきお 議員
芳形 幸夫 議員

質問の
ねらい

動き出した風力発電建設計画

①畑地化二次採択の見通しと不採択者への支援策・対応策を質す。②コロナ対応について、感染者数の把握方法と町民への周知方法を質す。③現行の健康保険証の廃止について、多くの国民が反対の声を挙げて

いる。町はこの声はどう対応するのか質す。④移動が不便な地域に住む通院困難者への移動サービス提供と交通費補助について質す。⑤風力発電建設計画が進行中、風光明媚な当別町に必要なのか質す。

ここが聞きたい 畑地化の見通しは

問 畑地化促進事業の1次採択がなされたが、今秋予定される2次採択に向けて、町はどのような見通しを持っているのか。

答 現時点で、2次採択の通知が届いていない

ため、見通しを立てるのは困難であるが、町と農協等で組織する農業再生協議会では、2次採択後に円滑に事業を進められるように、地域の合意が確認できる資料作成などの要件確認の準備をしている。



当別町の水田

ここが聞きたい コロナ感染状況の把握

問 コロナ感染者が増加傾向だが、感染対策緩和により収束に時間がかかるようである。町はどのように感染状況を把握して、町民や町内各機関への情報周知を図っていくのか。

答 1週間ごとに保健所単位で公表される感染者数により地域の状況を把握している。各機関はその数字をもって、それぞれで対応する。町民への周知は、広報紙やホームページにより行っていく。

ここが聞きたい 現行の健康保険証継続を

問 現行の健康保険証廃止について、延期・撤回すべきとの世論が多いと報道されている。マイナンバーカード作成任意という観点からも、現行の健康保険証を継続すべきと考えるが、町の考えは。

答 現行の健康保険証廃止後も、病院にかかる際、町民が混乱しないよう国で十分に協議、検討された上で、結果が示されると考えているので、それに基つき事務を進めていきたい。

ここが聞きたい 通院の交通費補助を

問 病院へ行きたいが、交通費が大変であるとの声が多い。そのような通院が困難な人に対し、移動サービスの提供や交通費助成はできないか。

答 公共交通がない地域に住む人々には、不便があると認識しているが、新たな移動サービス提供や交通費補助は、対象基準を定める困難さ、施策の優先度、予算規模の点から、現時点では難しい。

ここが聞きたい やはり反対 風力発電計画

問 西当別風力発電所建設問題が生じ3年が経過。景観や健康問題等から多くの町民が反対している。また、今までの対応から、疑念の多い事業であり不信感がある。改めて町の見解は。

答 町の意見として、地域住民の合意形成が極めて不十分であり、次の段階に進むことは容認できないとはっきり申し立てた。引き続き地域の声、議会の意向を国や道にしっかりと届けていく。

一般質問

さとう たつ
佐藤 立 議員



アンケート

質問の
ねらい

魅力ある当別町のこども施策

当別町では、町の特性を踏まえて、少子化対策の中でも特に効果が見込まれる分野、真に必要な対策に狙いを定めた検討をこれまで進めてきた。そして、国のこども未来戦略方針に基づく具体的な支援策の検討を

注視しつつ、効果的で魅力ある子育て支援策を見極めて実施したいとの方針を表明している。そこで、現時点の検討状況を問う。また、地域振興に不可欠な当別高校の位置付けについても確認した。



動画はこちら



ここが
聞きたい

国の何を注視してきたのか

問 子育て支援策の検討にあたって、町はこれまで国の検討状況を注視してきたところだが、何を注視してきたのか。

答 国の子ども・子育て支援に係る方針がどうなる

のか、これに伴う国の予算配分が自治体の財源確保にどう影響するのかという2点を注視している。特に当別町が抱える子育ての課題が、異次元の少子化対策に反映されるかどうかという点である。

ここが
聞きたい

当別町が目指す方向

問 町民や移住者に、当別に住むとここが良いと思われるように、町長として目指したい方向はあるか。

答 自然豊かな当別町で、子どもに次世代の教育を

受けさせたいという保護者が増えてほしい。また、地域全体をデジタルを基盤とした社会にして、多様なサービスが提供できるようになれば、新しい当別町の魅力ができてくると考えている。

ここが
聞きたい

障がい児の通学支援は

問 障がい児の通学支援について、2022年9月定例会以降の検討状況は。また、現時点で実現に至っていない理由は。

答 現行制度での移動支援拡充として、対象とする

学年、地域、期間の設定や自己負担など制度設計について検討してきた。しかし、財政状況が厳しく、町全体の施策優先度や事業規模などを総合的に判断し、やむを得ず令和5年度の予算化を見送った。

ここが
聞きたい

通学支援の優先度を問う

問 こども政策の中でも、障がい児の町外への通学支援は、極めて優先度が高いと判断していると理解をして良いのか。

答 どんな状況にあっても均等な教育を受けられ

ることは、誰一人取り残さないというSDGsの理念からも大変重要であると認識している。障がいを持つ方の福祉全体をどう考えるかという視点で総合的に判断していきたい。



北海道当別高等学校

ここが
聞きたい

当別高校は地域に不可欠

問 当別高校は欠員が多く、今後、高校の在り方について検討される想定である。当別高校は、当別町の地域振興に不可欠の存在であると考えているが、町長の所見は。

答 地域振興・発展に欠かせないものと認識。既存の概念にとらわれず、高校と地域との新たな連携の検討や教育プログラムに対する新たな視点を持つことなどが重要と考えている。



一般質問

かくた ひろすけ
角田 広佑 議員

質問の
ねらい

災害に強い町づくりを目指して

今夏の高温は、もはや異常気象ではなく、気候変動によるものが大きい。また当別町でもゲリラ豪雨が発生していることから、冬だけではなく、夏においても災害級の異常気象が発生するリスクが高まっている。

災害が発生した際の要支援者に対する対策と、今夏の公共施設の高温状態に対する執行者の姿勢や方針について質した。

ここが
聞きたい

個別避難計画策定の進捗

問

令和3年施行の改正災害対策基本法で、災害時避難行動要支援者の「個別避難計画」策定が市区町村の努力義務とされた。町では、令和5年に着手予定とのことだが、現在の進捗状況は。

答

町内会等の取り組み状況や要支援者の確認など、課題整理を進めている。既に個別避難計画につながる計画を作った町内会があり、そこをモデルに、町全体の計画策定につなげていきたい。



詳細はこちら

当別町防災マップ



当別町役場

ここが
聞きたい

庁舎の高温対策

問

今夏は、観測史上最高気温を記録するなど酷暑が続いた。役場庁舎には冷房設備がなく、来庁者をはじめ、職員の健康に影響を与えるものであった。冷涼な環境整備が急務ではないか。

答

次年度以降も同じような状況が続くことを見越し、公共施設に優先順位を付けて対策を講じていく。職員はもとより、公共施設の利用客に配慮した暑さ対策を実施していく。

ここが
聞きたい

学校の高温対策

問

町内小中学校は保健室等を除き非冷房。「暑くて大変」との小学生の声を多数聞いた。児童生徒や教職員へより良い教育環境を提供するため、小中学校へ冷房設備を整備する考えはないか。

答

小中学校も公共施設と同様の考えである。北海道の暑さ対策は、根本的に考え方を变える必要がある。子どもたちが安全でより良い環境で学習できるように、早期改善へ向けて進めていく。



とうべつ学園内部

一般質問

やまざき こうじ 議員
山崎 公司



アンケート

質問の
ねらい

チャット

ChatGPT を成功させるために

町は、ChatGPT を業務へ活用する実証実験を7～9月に行うと発表した。成功させるために、どのような対応をしているか質した。次に、改正道路交通法が4月から施行され、自転車乗車時のヘルメット着用

が努力義務とされたが、町内のヘルメット着用状況はどうなっているか質した。最後に、子どもの体力向上や夏の健康管理のために、西当別地区に学校プールの設置が必要ではないか質した。



動画はこちら

ここが
聞きたい

実証実験のゴールは

問 道内では一番最初に実証実験として導入しているが、実証実験はどのようになれば成功なのか基準はあるか。

答 実証実験にあたっては、通常業務に有効活用

できる可能性が体感できれば成功と考えている。ワードやエクセル同様、日常的に使えるようになることをゴールとして想定し、導入により、業務効率化や行政サービスの向上を図ることを目的としている。

ここが
聞きたい

プロンプトの重要性

問 ChatGPT を有効活用するためには、打ち込むプロンプト（命令文）が重要であるが、詳細な内容を明確に説明できるようにするために、プロンプトに関する学習などは行っているのか。

答 命令文の書き方や活用方法に関する広報紙を作り、職員に啓発するほか、専門家による学習会も開催した。また、命令文の例を職員間で共有し、より活用しやすい環境づくりを進めている。

ここが
聞きたい

自転車はヘルメット着用で

問 警察庁の調査によると、ヘルメットの着用率は、全国平均が13%に対し、北海道は6.4%であった。町として、着用義務について、どのように考えているか。

答 頭部を守るために、一人ひとりが自覚して着用することが必要と考える。今後も関係機関と連携しながら、自転車の交通安全啓発と、ヘルメットの自発的な着用に向けて周知を図っていく。

ここが
聞きたい

ヘルメットの貸与や補助は

問 小中学生にヘルメットの無償貸与はできないか。2,000円を補助する自治体もあるが、購入費補助のような形も検討できないか。

答 児童生徒へ対するヘルメットの無償貸与や購入助成については考えていない。

ここが
聞きたい

西当別にもプールを

問 今年は暑く、町民・移住者の声として、プールの必要性が多く聞かれた。西当別地区にも学校プールの設置が必要ではないか。

答 とうべつ学園のプールが、授業のほか地域住民に幅広く活用されているため、新たなプールを建設するのではなく、とうべつ学園のプールが、さらに活用されるよう努めていく。



とうべつ学園水泳プール